

⑪ 日本国特許庁 (JP)

⑫ 実用新案出願公開

⑬ 公開実用新案公報 (U)

昭58--113125

⑭ Int. Cl.³

G 05 G 1/14

B 60 K 23/02

B 60 T 7/06

識別記号

庁内整理番号

7369-3J

6948-3D

7146-3D

⑮ 公開 昭和58年(1983)8月2日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑯ アジャスタブルペダル

豊田市トヨタ町1番地トヨタ自動車株式会社内

⑰ 実 願 昭57--10524

⑱ 出 願 人 トヨタ自動車株式会社

⑲ 出 願 昭57(1982)1月28日

豊田市トヨタ町1番地

⑳ 考 案 者 杉本隆義

㉑ 代 理 人 弁理士 神戸典和 外 2 名

㉒ 実用新案登録請求の範囲

クラッチペダル、ブレーキペダル等車両用ペダルであつて、

車体に固定のブラケットによつて水平軸線まわりに回動可能に支持され、下端部に連結部を備えた上部アームと、

前記連結部に、車両の前後方向に長く形成された溝および該溝の少なくとも一方の縁に沿つて形成された係止歯と、

下端部にペダルパッドを備え、前記連結部に前記溝の長手方向に移動可能に連結された下部アームと、

該下部アームの上部に設けられ、前記係止歯と係合して該下部アームの前記溝に沿つた移動を阻止する係合部材と、

前記連結部に、前記溝に沿つて、脱着可能に取り付けられる長手部材であつて、取り付けられた状態では前記下部アームまたはそれに固定された部材

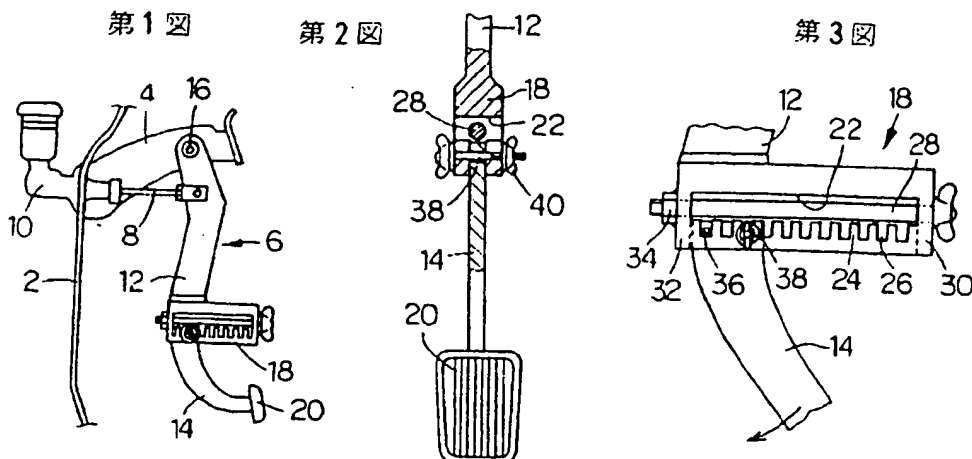
と当接して該係合部材が前記係止歯から離脱することを阻止し、取外された状態では該係合部材の離脱を許容して前記下部アームの前記溝に沿つた移動を可能とするロック部材と

を含むことを特徴とするアジャスタブルペダル。

図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例であるクラッチペダルを含むクラッチ操作装置の側面図である。第2図は第1図に示したクラッチペダルの要部を断面にして示す正面図である。第3図は同じく要部の側面図である。第4図は本考案の効果を示す説明図である。

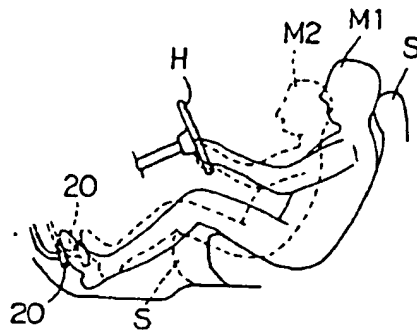
4:ペダルブラケット、6:クラッチペダル、12:上部アーム、14:下部アーム、16:枢軸、18:連結部、20:ペダルパッド、22:溝、24:係止歯、28:蝶ねじ(ロック部材)、36:ピン、38:蝶ねじ。



BEST AVAILABLE COPY

KSR 003050

第4図



BEST AVAILABLE COPY